

## 2

## 言語

文法 文の組み立て(1)  
文の成分・連文節

名前 年 組 番

/ 100 点



(2) 各5点×8、他各4点×15

【1】 次の文の——線①～⑤の文の成分を、後の「」からそれぞれ選びなさい。

① かれは、テニス部の正選手になろうとして努力した。③ そして、その努力がむくわれて、彼は④ ついに正選手になった。彼は心の中でつぶやいた、⑤ 「ほら、努力は必ずむくわれる」と。

① ( ) 主語 ② ( ) 修飾語

③ ( ) 接続語 ④ ( ) 述語

⑤ ( ) 独立語

「主語 述語 修飾語 接続語 独立語」

【2】 次の文について、後の問いに答えなさい。

① 母が朝から外出したときに、② ぼくと弟は自分たちの部屋で遊んでいた。

① 「母が朝から外出した」の文の成分を、後から選び、それぞれその記号を書きなさい。

母が (ア) 朝から (ウ)

外出した (イ)

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語

エ 接続語 オ 独立語

② 「ぼくと弟は」と「自分たちの部屋で」はどの連文節ですか。後から選び、それぞれその記号を書きなさい。

を書きなさい。

② (ア) ③ (ウ)

ア 主部 イ 述部 ウ 修飾部

エ 接続部 オ 独立部

③ 「遊んでいた」の説明になるものを次から一つ選び、その記号を書きなさい。 (エ)

ア 「母が」に対する述部になっている。

イ 「朝から」に対する接続部になっている。

ウ 「部屋で」に対する修飾部になっている。

エ 「ぼくと弟は」に対する述部になっている。

● 「遊んでいた」のは、アの「母」ではなく、エの「ぼくと弟」である。

【3】 次の文の——線の文の成分を後から選び、それぞれその記号を書きなさい。また、——線の文節どうしの関係を書きなさい。

① 試合中に応援団が大きな声援を送っていた。

成分 (イ) 関係 (補助) の関係

② 今日の二時に先生のお宅にうかがいます。

成分 (ウ) ● 「今日の」が「二時に」を修飾している。

関係 (修飾・被修飾) の関係

③ 祭りは、天気さえよければにぎわうだろう。

成分 (エ) 関係 (主語・述語 (主・述) の関係

④ 温かくて大きいのは、私の祖父の心です。

成分 (ア) 関係 (並立) の関係

⑤ 彼女の助言、それがぼくを立ち直らせてくれた。

成分 (オ) 関係 (主語・述語 (主・述) の関係

た。

成分 (オ)

関係 (修飾・被修飾) の関係

ア 主部 イ 述部

ウ 修飾部 エ 接続部

オ 独立部

【4】 次の文の、文の成分の組み立てを後から選び、それぞれその記号を書きなさい。

① 満開の桜の花を二人の老人がとても楽しそうに眺めていた。 (エ)

ア 主部＋述部＋修飾部＋述部

イ 修飾部＋主部＋述部

ウ 修飾部＋修飾部＋主部＋述部

エ 修飾部＋主部＋修飾部＋述部

② 星空を見ると、ふさいだ気分が少し和らぐ。 (ウ)

ア 主部＋述部

イ 接続部＋主部＋修飾部＋述部

ウ 接続部＋主部＋述部

エ 主部＋述部＋修飾部＋述部

## 3

## 言語

## 文法 文の組み立て(2)

## 文節どうしの関係・文の種類

名前

年

組

番

/ 100 点



(5は各4点×5、他各5点×16)

① 次の文で、主・述の関係になっている文節をそれぞれ書きぬきなさい。

① 弟が部屋で読書する。

主語 ( 弟が ) 述語 ( 読書する )

② 川の水はとても冷たい。

主語 ( 水は ) 述語 ( 冷たい )

③ 会場もたくさんの人でにぎわった。

主語 ( 会場も ) 述語 ( にぎわった )

④ とうとう全員が山頂に立った。

主語 ( 全員が ) 述語 ( 立った )

※各完答。

② 次の文で、修飾・被修飾の関係になっている文節をそれぞれ書きぬきなさい。

① 問題はとても易しい。

修飾語 ( ) とても

被修飾語 ( ) 易しい

② すぐに列車が到着する。

修飾語 ( ) すぐに

被修飾語 ( ) 到着する

③ ひらひらと花びらが舞う。

修飾語 ( ) ひらひらと

被修飾語 ( ) 舞う

④ おそらく明日は晴れるだろう。

修飾語 ( ) おそらく

被修飾語 ( ) 晴れるだろう

※各完答。

③ 次の文で、並立の関係になっている二つの文節をそれぞれ書きぬきなさい。

① 野菜や果物を食べなければいけません。

( 野菜や ) ( 果物を )

② 彼らは高く険しい山を目指している。

( 高く ) ( 険しい )

※順不同。各完答。

④ 次の文で、補助の関係になっている二つの文節をそれぞれ書きぬきなさい。

① 部屋の窓を開けておく。

( 開けて ) ( おく )

② 太陽が空をのぼってくる。

( のぼって ) ( くる )

※順不同。各完答。

⑤ 次の文の——線と——線の文節どうしの関係と同じ関係のものを後からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

① 白い大きな鳥が飛んでいる。

② ささやかな願いが実現した。

③ トンネルや鉄橋が多い地域だ。

④ ろうそくの火が静かにゆらめく。

⑤ 元気なら、走れ。

ア 今夜は満月だ。

イ あの人はすなおでない。

ウ 眠いので、眠った。

エ 近くですずめやはとが鳴き出した。

オ ピアノの音色が聞こえる。

⑥ 次の文の種類を後からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

① 梅の花が咲く道を私は歩いた。

② 海はどこまでも青く澄んでいた。

③ 風は戸をたたき、雨は降り続けた。

ア 単文 イ 重文 ウ 複文

●②は、「海は澄んでいた」と主・述の関係が一回であることから単文である。

⑦ 次の文と種類が同じ文を後から選び、その記号を書きなさい。

・これは妹が描いた絵です。

ア 海は深く、山は高い。

イ 私はイルカがジャンプするのを見た。

ウ 先生が教室に來られます。

●例文とイは複文、アは重文、ウは単文である。

# 1

## 言語 漢字・語句 漢字・語句の練習

名前 年 組 番

/ 100 点



(2) 4各3点×12、他各4点×16

1 次の漢字の部首をア～エから選び、記号を書きなさい。

- ①襲〔ア音 イ亀 ウ龍 エ衣〕 (エ)  
②豪〔ア一 イ𠂔 ウ一 エ豕〕 (エ)  
③暇〔ア日 イ𠂔 ウコ エ又〕 (ア)  
④縁〔アユ イ豕 ウ糸 エ豕〕 (ウ)

2 次の①～⑥、それぞれの三つの□に共通する漢字を入れて熟語を作りなさい。漢字は後から選び、記号を書きなさい。

- ①□星・迷□・困□ (エ)  
②□様・神□・□下 (イ)  
③影□・反□・音□ (ウ)  
④名□・対□・□賛 (ア)  
⑤感□・□息・□願 (オ)  
⑥□向・□旨・□味 (カ)  
〔ア称 イ殿 ウ響 エ惑 オ嘆 カ趣〕

3 次の文中の四字熟語の——線のカタカナを、漢字に直して書きなさい。

- ①美辞レイクを並べてもむなしいだだけだ。 (麗句)  
②才色ケンビとは彼女を指して言う言葉だ。 (兼備)  
③旧態イゼンとしたやり方では発展しない。  
●「旧態依然」とは、昔のままで進歩のないさまのことである。 (依然)  
④ジンセキ未踏の地にたどり着いた。 (人跡)

4 次の熟語に当てはまる構成を、後のア～カから一つずつ選び、記号を書きなさい。

- ①皮膚 (ア) ②未婚 (カ)  
③握力 (ウ) ④雷鳴 (オ)  
●「雷が鳴る」で主語と述語になる。  
⑤攻守 (イ) ⑥発汗 (エ)

ア 似ている意味の漢字を重ねたもの。(岩石)  
イ 反対または対になる意味を表す字を重ねたもの。(高低)  
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの。(洋画)  
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの。(着席)  
オ 主語と述語の関係にあるもの。(国立)  
カ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。(未熟)

5 後のひらがなを漢字に直して□に入れ、対義語を作りなさい。

- ①濃密 (淡) ②買収 (却)  
③軽率 (慎) ④確信 (憶)  
〔おく しん きやく たん〕

6 後のひらがなを漢字に直して□に入れ、類義語を作りなさい。

- ①貯蔵 (蓄) ②思案 (慮)  
③過大 (誇) ④看病 (抱)  
〔ほう ちく りよ こ〕

5

言語

ことばの学習 まとめ(5)  
類義語・慣用句

名前

年

組

番

/100点

(各10点×10)



1 ———— の言葉と同じような意味の言葉を、☐ に別の漢字一字を入れて作りましょう。

① 自分で体験したことを書く。 ↓ 自分で **経** 験したことを書く。

② 関係のある内容をまとめて述べる。 ↓ 関 **連** のある内容をまとめて述べる。

③ いろいろな視<sup>してん</sup>点からものを見る。 ↓ いろいろな **観** 点からものを見る。

④ 自分の未来について考えてみる。 ↓ 自分の **将** 来について考えてみる。

⑤ 規則正しい生活を送る。 ↓ 規 **律** 正しい生活を送る。

2 ☐ に当てはまる動物を書き入れ、下の意味を持つ慣用句を完成させましょう。

① **すずめ** のなみだ…ごくわずかなこと。

●「一生けん命働いたのに、すずめのなみだほどの給料しかもらえなかった」  
のように使います。

② **ねこ** をかぶる…おとなしいふりをする。

③ **馬** が合う…気が合う。

④ **からす** の行水…入浴時間がとても短いこと。

⑤ **たぬき** ね入り…ねむったふりをする事。

9

言語

ことばのおさらい(1)

同訓異字 反対の意味の漢字 慣用句

名前 年組番

/100点



【1】は各完答で各20点×2、【2】は各完答で各10点×3、【3】は各10点×3

1 □に、同じ訓を持つ、別の漢字を書き入れましょう。

① 工場に

勤

める。

量

る。

② 町長を

務

める。

⑤ 海底の深さを

測

る。

③ 技術の向上に

努

める。

⑥ 移動する時間を

計

る。

2 次の上の□に漢字を書き、それと反対の意味の漢字を下の□に書きましょう。

●「努力する」という意味です。

① 拾

ったごみは

捨

てないで、持ち帰ってください。

② 敬老

の日には、

若

い人たちがお祝いの会を開いた。

③ 難

しい問題はできたのに、

易

しい問題でまちがえた。

3 次の――線の言葉が表しているものに、○を付けましょう。

① 毎朝飼育小屋をそうじしている飼育委員の人には、頭が下がる。

（ ） 申しわけなく思う気持ち。 （ ） とても感謝する気持ち。

（ ） 心配する気持ち。

② 来週から夏休みだから、うれしくて勉強が手につかない。

（ ） 集中できないでいる様子。 （ ） 集中してやる様子。

（ ） そのことが心配でたまらない様子。

③ 田村君のピアノの演奏に、みんな舌をまいた。

（ ） 下手でがっかりした様子。 （ ） あきてしまった様子。

（ ） とても上手で感心した様子。